



奈良県感染症情報

令和3年 第26週(6月28日～7月4日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)の実施状況

❖ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ❖

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	RS ウイルス感染症	5.35	(5.56)	↘	↘	→	↑
2	感染性胃腸炎	3.74	(3.47)	→	→	→	→
3	突発性発しん	0.41	(0.56)	→	↘	→	↓
4	咽頭結膜熱	0.35	(0.41)	↓	↘	↓	→
5	A群溶連菌咽頭炎	0.21	(0.21)	↘	→	↘	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

❖ 県内概況 ❖

RS ウイルス感染症の報告は、引き続き高い水準で推移しています。RS ウイルス感染症は2歳までにほぼ100%の児が初感染すると言われており、2歳以下の乳幼児からの報告が多く占めていますが、3歳以上の年長児からの報告も多くなっています。日頃から、手洗い・咳エチケットを心がけましょう。

第26週の新型コロナウイルス新規感染者数は97名と前週より減少しています。6月下旬は飲食店でのクラスターが発生しました。飲食店での長時間の滞在は控え、会話の際はマスクの着用を徹底しましょう。また、換気がよく、座席間の距離も十分で、適切にアクリル板も設置され、混雑していない店を選びましょう。引き続き、職場・家庭・家庭外で感染が連鎖しないよう、感染防止対策をお願いします。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

発熱患児が増えてきている。

嘔吐を主症状とする感染性胃腸炎は減少してきた。明確なヘルパンギーナや手足口病は無い。

A群溶連菌感染症とRSウイルス感染症がある。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は増加。発熱例が増加。近保育園でコロナ感染児が発生し、全員PCR陰性を確認したとのことであるが、その後も同園からの発熱児が数名来院している。

RSV様気管支炎も流行持続。感染性腸炎も流行。流行性耳下腺炎例が1例あった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

RSウイルス感染症の流行が続いている。また、肺炎球菌感染症やマイコプラズマ感染症も散見される。

COVID-19感染症については、小児で家庭での感染がみられるも軽症で例数も減少している。

蕁麻疹様の発疹を伴う感染症が数例みられた。対症療法のみで軽快し、色素沈着や合併症はみられていない。

❖ L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)の実施状況 ❖

検査実施週	L452R変異株PCR検査数	L452R変異株陽性者数	国立感染症研究所におけるゲノム解析結果(判明数のみ)		
			デルタ株	デルタ株以外の変異株	解析不能
6月7日～6月20日	3 (N501Y変異株PCR検査)	-	3※	-	-
	39	2	0	0	0
6月21日～6月27日	39	0	0	0	0
6月28日～7月4日	62	1	0	0	0
計	140	3	3※	0	0

デルタ株: インドで最初に検出された変異株

※N501Y 変異株 PCR 検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付しゲノム解析した結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 3 年 第 26 週 6 月 28 日 ~ 4 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	182 (5.35)	19 (2.11)	22 (2.44)	77 (11.00)	51 (8.50)	2 (2.00)	11 (5.50)	
咽頭結膜熱	12 (0.35)		3 (0.33)	3 (0.43)	5 (0.83)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	7 (0.21)	1 (0.11)	3 (0.33)	2 (0.29)	1 (0.17)			
感染性胃腸炎	127 (3.74)	30 (3.33)	36 (4.00)	10 (1.43)	45 (7.50)	3 (3.00)	3 (1.50)	
水痘								
手足口病	1 (0.03)				1 (0.17)			
伝染性紅斑	1 (0.03)	1 (0.11)						
突発性発しん	14 (0.41)	4 (0.44)	1 (0.11)	6 (0.86)	3 (0.50)			
ヘルパンギーナ	6 (0.18)	1 (0.11)	1 (0.11)	1 (0.14)	3 (0.50)			
流行性耳下腺炎	3 (0.09)	1 (0.11)		2 (0.29)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.30)	1 (0.33)		2 (1.00)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)						1 (1.00)	
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核6件(奈良市1、郡山4、中和1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(郡山1)
4類感染症	
5類感染症	急性弛緩性麻痺1件(中和1) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(郡山1) 梅毒1件(中和1)

❖ 第26週のトピックス ❖

◆新型コロナウイルス感染症「最新の感染状況をふまえた県民のみなさまへのお願い」(奈良県)

<http://www.pref.nara.jp/58875.htm>

◆ダニ媒介感染症(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

◆蚊媒介感染症(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164483.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男女																						1
RSウイルス感染症	男女	13 3	5 12	19 21	25 18	14 19	9 9	6 4	4 1													95 87	1121 1016
咽頭結膜熱	男女			1 2	3 1	2 1	1 1															6 6	198 136
A群溶連菌咽頭炎	男女			1 1	1 2							1 1	1 1									2 5	196 166
感染性胃腸炎	男女		3 1	7 13	14 6	9 7	5 6	4 4	3 6	3 1	3 2	1 2	5 4	3 1	5 10							65 62	1378 1183
水痘	男女																						26 24
手足口病	男女			1 1																		1 1	32 16
伝染性紅斑	男女			1 1																		1 1	3 4
突発性発しん	男女		1 3	6 4																		7 7	185 155
ヘルパンギーナ	男女			2 1	2 1																	4 2	14 11
流行性耳下腺炎	男女						1 1			1 1												1 2	18 10
急性出血性結膜炎	男女																						1
流行性角結膜炎	男女																					1 2	37 13
細菌性髄膜炎	男女																						3 3
無菌性髄膜炎	男女																						2 1
マイコプラズマ肺炎	男女			1 1																		1 1	2
クラミジア肺炎	男女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						1 1

